

マグマックス500

道糸入力方法「指定入力編」

PO 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

・下巻きをしない場合

1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. パワーレバーをOFFまで戻します。

※ドラグをしっかり締め込んでください。

3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法については電源とのつなぎ方を参照ください。
※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。
※糸を巻き込まないように注意してください。
※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようご注意ください。

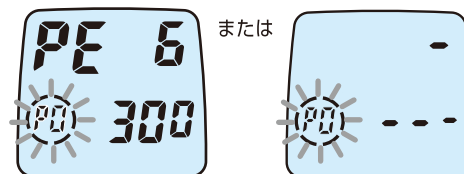
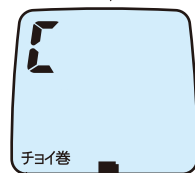
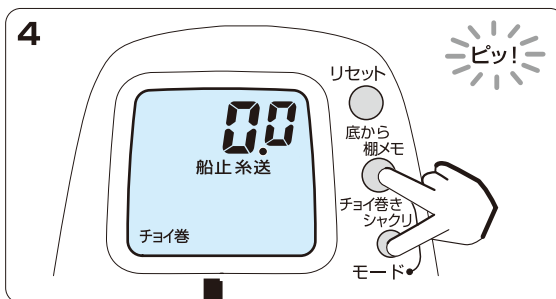
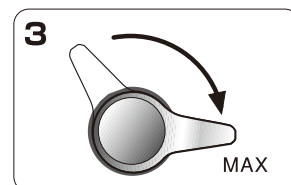
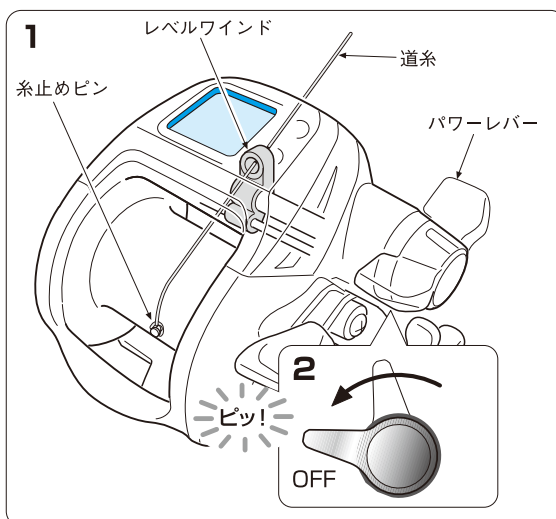
4. 表示が **0.0** のときに **底から/棚メモ** スイッチと **モード** (チョイ巻き/シヤクリ) スイッチを同時に5秒間押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

5. 初期設定PE6号-300mの画面になり **PO** が点滅します。

6. パワーレバーで、数値をセットし、**モード** スイッチを押せば完了です。

(**0.0** に戻ります。)



PE (左上の表示がPEの場合) (m)			ナイロン (左上の表示がLの場合) (m)		
4号	400	470	5号	300	400
5号	300	350	6号	300	330
6号	200	300	7号	300	
8号	200	220			

※マグマックス500には、あらかじめタナセンサーブライト6号-300mのデータが入力されています。
タナセンサーブライト6号-300m巻く場合は、データのインプットは不要です。



注意

- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。
糸があたらないようご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0 (分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
当社棚センサーブライト以外の道糸を巻く場合は、この方法で入力してください。

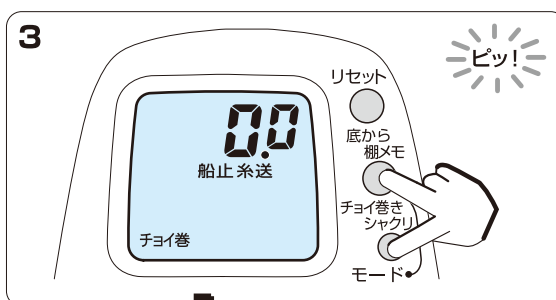
1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

- ※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. パワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させ表示が **0.0** のときに **底から/棚メモ** スイッチと **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを同時に5秒間押し続けてください。

- ※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。



4. 初期画面になります。

(**P0** が点滅します。)



5. もう一度 **モード** スイッチを押します。

(**P1** が点滅します。)

6. パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

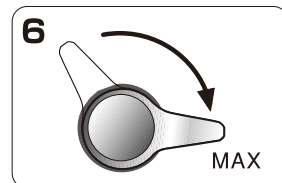
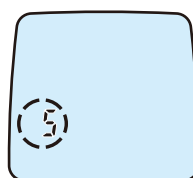
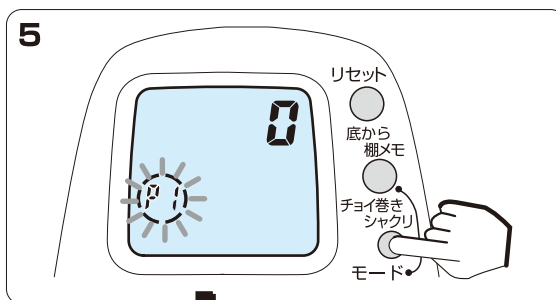
パワーレバーを倒すと **P1** がテンション表示に変わります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

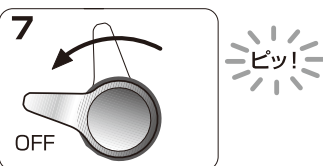
巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。(スプールの回転数を表示します。)

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。

糸があたらないようご注意ください。

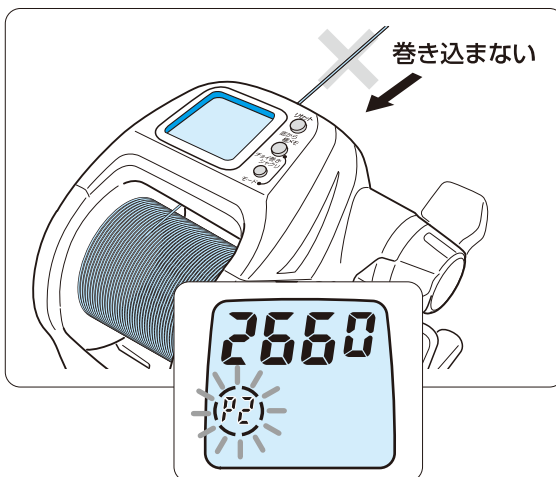


7. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



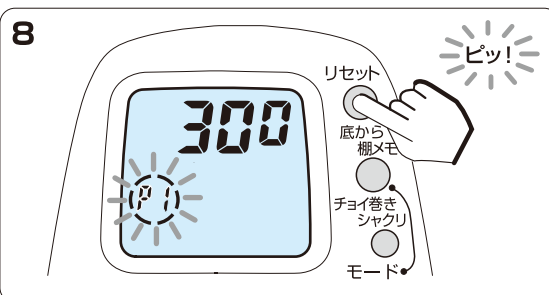
注意

・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。



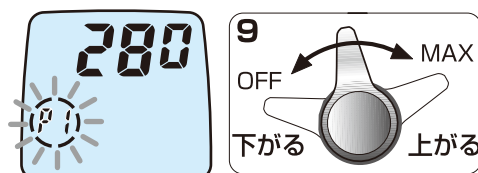
8. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **300** になるまで押してください。

(300は初期値です。)



9. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

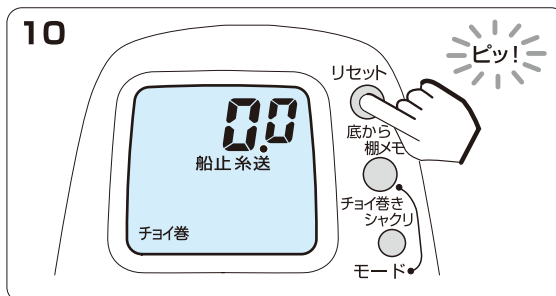
(図は、280m入力した場合です。)



10. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

(アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。)

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。又は引出し入力をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 下糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通電させてください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

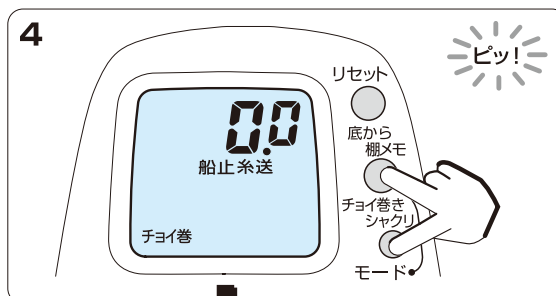
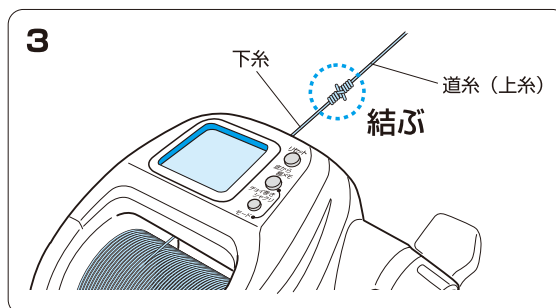
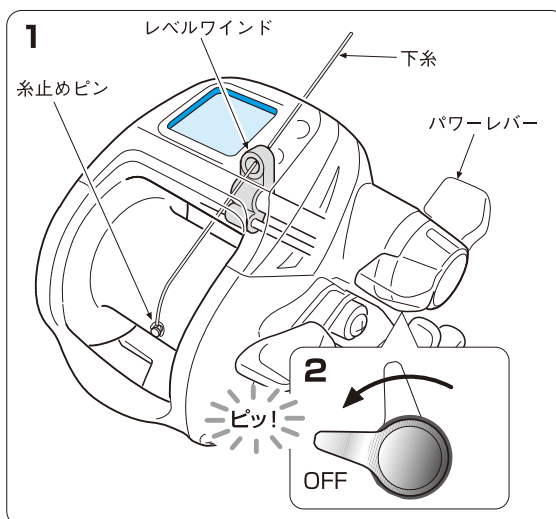
2. 下糸を巻きます。

※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

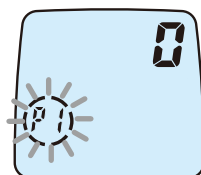
3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに **底から/棚×モ** スイッチと **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを同時に5秒間押し続けてください。

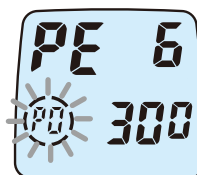
※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。次に **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを押すと **P1** が点滅します。



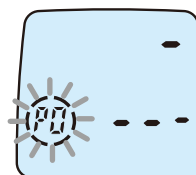
モード (チョイ巻/シャクリ) スイッチ



(糸長入力画面)



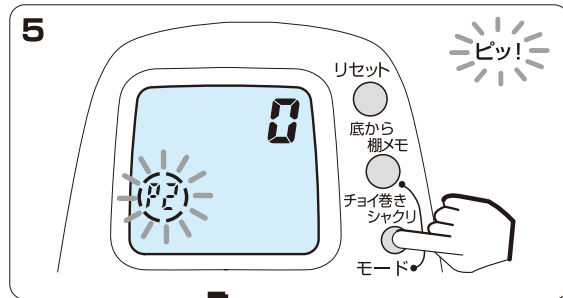
または



5.糸長入力画面になったらもう一度

モード (チョイ巻き/シャクリ) スイッチを押して下巻き入力画面にしてください。

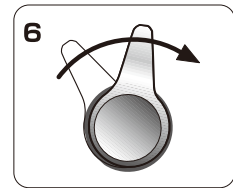
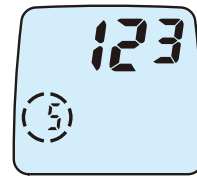
P2 が点滅します。



6.テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整してください。



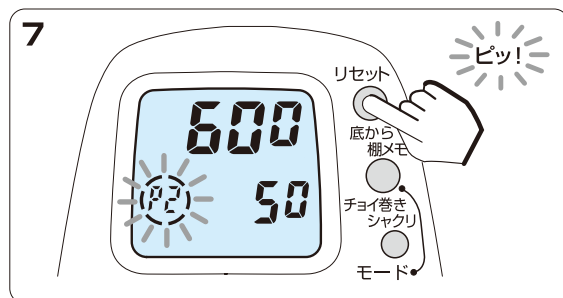
注意

- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで10分以上 (※1) かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0 (分) とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

P2 が点滅し、下のカウンターが **50** になります。上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。

8.テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

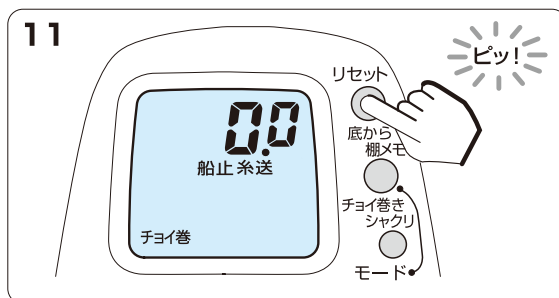
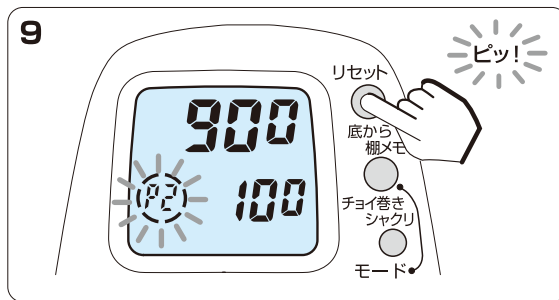
P2 下巻き入力

9. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。

10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。

11. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **0.0** mになり完了です。



・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。又は引出し入力をしてください。

道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

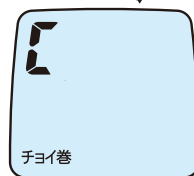
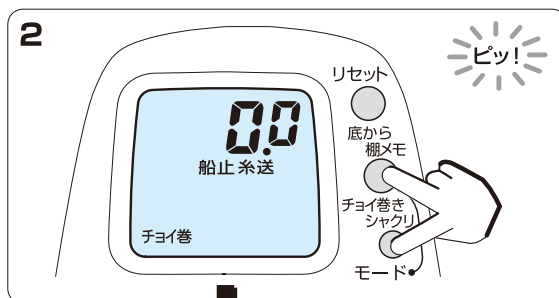
1. 通电させてください。

2. **底から/棚メモ** スイッチと **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを同時に5秒以上押し続けてください。

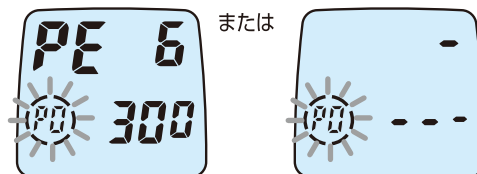
※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。

次に **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを押すと、**P1** が点滅します。

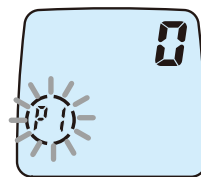
さらに **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを押すと、**P2** が点滅します。



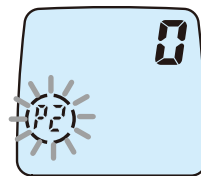
モード (チョイ巻/シャクリ) スイッチ



モード (チョイ巻/シャクリ) スイッチ



モード (チョイ巻/シャクリ) スイッチ

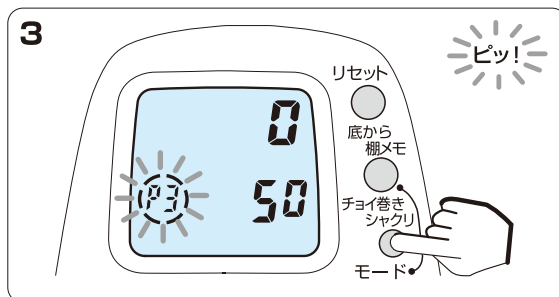


道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

3. 下巻き入力画面になったら、もう一度 **モード** (チョイ巻/シャクリ) スイッチを押して引出し入力画面にしてください。

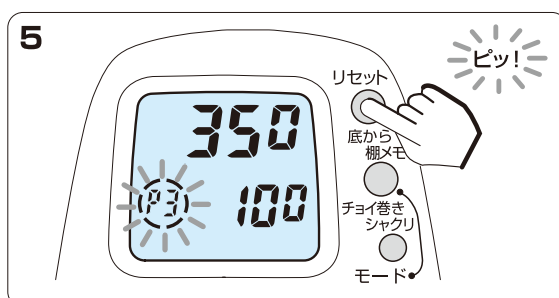
P3 が点滅します。



4. 糸のマークに注意しながら、50m引き出します。

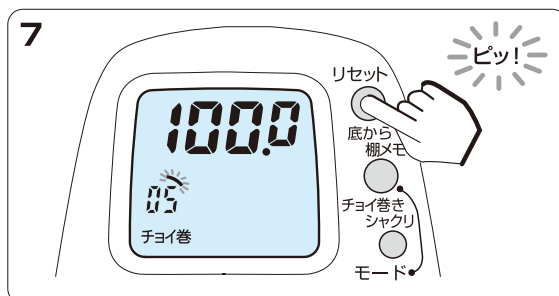
5. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。



6. 糸のマークに注意しながらさらに50m引き出してください。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **100.0** mになります。



8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・この入力方法で入力した場合、100mを超える範囲では、糸長を表示しない場合があります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。